



 **古河スカイ株式会社**

株主の皆様へ
2011年3月期決算報告
2010年4月1日～2011年3月31日



Q 当期の事業環境および当社グループの業績は
いかがでしたか。

A 世界経済が全体として回復基調にあり、わが国の
景気も持ち直しに転じたことから、アルミニウム圧
延業界も輸出、内需ともに総じて好調で、アルミニウム圧延
品需要全体で数量は前期比約9%増加しました。

このような中、当社グループの売上数量も、飲料用缶材を
はじめ自動車熱交換器用材料、液晶・半導体製造装置向け厚
板等、大半の分野で回復し、前期比約12%増となりました。

損益面では、既存資産に関連する特別損失が7億円あった
ものの、数量の回復や地金ポジションの正常化のほか、法人
税等調整額を29億円計上したことなどにより、連結当期純
利益は前期比で大幅に改善しました。

結果として、当期の連結売上高2,072億円(前期比11.7%
増)、連結営業利益123億円(前期比118億円増)、連結経常利
益117億円(前期比123億円増)、連結当期純利益120億円
(前期比127億円増)となりました。

また、東日本大震災により、東北・関東地方にある当社グ
ループの生産拠点等の建造物、生産設備において一部被害を
受けました。しかし、生産や顧客サービスに大きな影響はな
く、短期間で通常の操業に復帰しております。

株主の皆様、日ごろは格別のご高配を賜り、誠に
ありがとうございます。

また、このたびの東日本大震災により被災された
皆様に、謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興
を心よりお祈り申し上げます。

ここに、2011年3月期の事業の概況と決算をご報
告いたします。

Q 来期の見通しについて教えてください。

A 今後、円高の進行や原油価格の高騰等による経営
環境への影響が懸念され、先行きに不透明感があり
ます。また、東日本大震災とこれに続く電力供給の問題につ
いては、お客様の需要動向自体の不透明さに拍車をかけてお
り、まさに企業耐力が試される状況にあると言えます。

このように厳しい環境下にはありますが、昨年4月に発表
した「2012中期経営計画」の重点施策を継続して実施し、収
益力の向上に邁進する所存です。具体的に、国内では板圧延
事業の構造改革を着実に進め、熱間圧延能力増強に向けた投
資を実行するとともに、新製品開発や、成長する海外市場へ
の投融資についても積極的に取り組んでまいります。

これらを踏まえ、来期は連結売上高2,039億円、連結営業
利益105億円、連結経常利益103億円、連結当期純利益69億
円を見込んでおります。

なお、当期の配当につきましては、年間6円とさせていただきます。来期の配当についても、未だ不透明な環境下にありますが、年間6円を予定しております。

Q 「2012中期経営計画」達成に向けた当期の取り組みはいかがでしたか。


A 2012年度を最終年度とする中期経営計画の達成に向け、当期、国内事業においては日光工場など板圧延事業の構造改革を推進すると同時に、成長する海外市場への的確な対応を図るなど、事業基盤の一層の強化と経済環境変化への対応を着実に進めてまいりました。ドイツでの欧州駐在員事務所の開設や、中国の販売会社設立など拠点の拡充はその一環です。また、電池分野等、成長製品、次世代製品への事業対応も積極的に行っており、その進捗を国際二次電池展等でご紹介いたしました。

なお、中期経営計画のなかでは、収益力・財務体質・技術力・人材力のいずれにおいても「アジアNO. 1の魅力あるカンパ

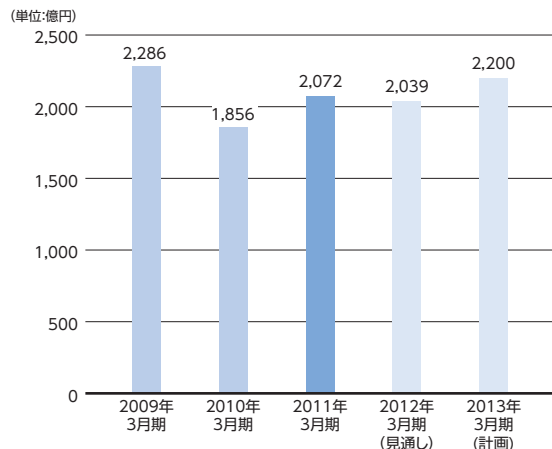
ニー」となることを経営ビジョンに掲げております。今後も、利益水準の拡大と財務体質の強化に継続的に取り組むとともに、成長を支える国内外の生産拠点への的確な投資、新技術・新製品の開発促進、海外での新たな事業活動拠点への投資など、本中期期間以降の継続的発展も見据えながら、的確な対応を行ってまいります。

そして、2012年度には、連結売上高2,200億円、営業利益150億円の達成を目標としております。

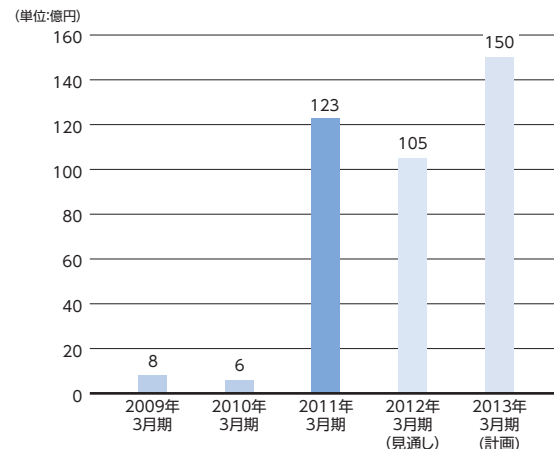
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 

連結売上高 2,072億円 前期比11.7% 



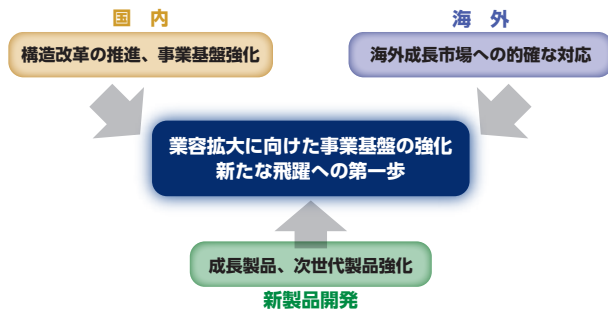
連結営業利益 123億円 前期より118億円 



「2012中期経営計画」の進捗と今後の計画

2012中期経営計画達成に向けて、2010年度に取り組んだ成果と今後の計画についてご報告いたします。

2012中期経営計画方針



国内事業

◆ 板事業構造改革

当社の柱である板圧延事業において、日光工場の上流工程を休止し、福井・深谷圧延工場の最適生産体制を確立することにより、コスト競争力を強化します。

2010年度は一部製品の福井・深谷への移管を開始しました。当構造改革は2013年3月に完了予定で、完了後には年間約30億円の収益改善を見込んでいます。

◆ 福井工場の熱間圧延能力増強

2012年度、福井工場にスラブ加熱炉を増設する予定です。その前段として、今年度は建屋の着工に入ります。この投資により熱間圧延能力が増強されるため、大幅な増産体制をとることが可能となります。また、コストダウン効果によって、海外競争力向上に大きく貢献することが期待されます。

海外事業

◆ 海外拠点の拡充

成長する海外市場に対応するため、今年度新たに3つの海外拠点を開設しました。欧州市場での情報収集強化を図るため、2011年9月にドイツ・デュッセルドルフに欧州事務所（Furukawa-Sky Aluminum Corp. European Office）を開設、また同月、中国・上海に販売会社の古河ス凱（上海）鋁材有限公司を設立しました。今後、中国市場で当社およびグループ会社製品の拡販活動を行ってまいります。また、タイ・バンコク近郊に設立した圧延品加工・販売会社 FURUKAWA-SKY ALUMINUM (THAILAND) CO., LTD.は、東南アジア・インド市場への供給基地として、昨年12月から稼働しています。

◆ 米国アルミニウム板圧延品製造販売会社の株式を取得

当社は4月、住友軽金属工業(株)、住友商事(株)、伊藤忠商事(株)、伊藤忠メタルズ(株)と共同で、北米アルミ缶材シェア4位の ARCO Aluminum Inc.の全株式を取得することを発表しました（当社出資比率35%、クロージング後「^{トライ}Tri-Arrows」に名称変更予定）。

今回の株式取得によって、世界最大のアルミ缶材市場である北米に生産拠点を獲得するだけでなく、今後更に高い成長が見込まれる中南米も視野に入れた展開を図ってまいります。

新規製品

◆ 新製品をPR

成長製品や次世代製品関連の強化を重点ターゲットとして、新製品開発に取り組んでいます。その成果として、2010年5月の「軽量化・高強度化技術展2010 (MALSEC)」、2011年2月の「国際二次電池展」の他、2010年6月に中国・上海で開催された「ALUMINIUM CHINA 2010」、9月にドイツ・エッセンで開催された「ALUMINIUM2010」など国内外、大小様々な展示会に出展し、古河スカイのプレゼンス向上を図るとともに、当社技術力および高機能製品群をPRしました。

◆ 電池関連の事業展開

2011年3月の「国際二次電池展」には、当社独自設計によるオールアルミニウム素材の電気自動車を展示し、大きな反響を得ました。車載電池用箔製品の上市に向け、グループ一体で対応を進めてまいります。

また、電池箔事業において今後急速な拡大が見込まれる中国市場への布石とすべく、2011年4月には、既に板圧延事業で合弁会社を設立している中国広東省の広東東陽光鋁業股份有限公司とともに、電池用箔製造販売会社を中国で設立する検討を行う旨の意向書を締結しました。

中期経営計画の進捗と今後の取り組み

		2010年度	2011年度	2012年度
国内	構造改革	板事業構造改革(日光上流工程休止)	一部製品の量産開始	上流工程休止
	基盤強化			福井工場 スラブ加熱炉増設
海外	板	中国・乳源東陽光への技術供与	北米缶材拠点への出資(トライ アローズ(仮称))	南米市場アプローチ検討
	押出・鑄鍛	タイSI会社設備導入(FSTH タイ)	販売開始	
	他	中国販社設立(FSSH 上海)	販売開始	
新製品		・リチウムイオン電池ケース用合金素材 ・集電体正極用アルミ箔	中国・広東東陽光との電池箔事業検討	
		「国際二次電池展」出展	リチウムイオン電池関連の次世代向け製品開発EV関連	

財務データ

■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前 期 (2010年3月31日現在)	当 期 (2011年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	89,239	112,782
現金・預金	4,201	4,747
受取手形・売掛金	58,262	58,159
棚卸資産	20,975	25,214
その他	5,801	24,663
固定資産	110,938	105,096
有形固定資産	97,828	89,417
無形固定資産	2,409	1,890
投資その他の資産	10,701	13,789
資産合計	200,176	217,878
負債の部		
流動負債	85,699	88,169
支払手形・電子記録債務・買掛金・未払金・未払費用	51,803	54,987
短期借入金・一年以内返済長期借入金・社債	32,800	30,864
その他	1,096	2,317
固定負債	54,861	59,802
長期借入金・社債	40,353	45,995
その他	14,508	13,807
負債合計	140,560	147,971
純資産の部		
株主資本	59,162	69,995
資本金	16,528	16,528
資本剰余金	35,184	35,184
利益剰余金	7,452	18,284
自己株式	△ 2	△ 2
その他の包括利益累計額	△ 31	△ 633
その他有価証券評価差額金	169	193
繰延ヘッジ損益	47	157
為替換算調整勘定	△ 247	△ 982
少数株主持分	486	546
純資産合計	59,617	69,907
負債純資産合計	200,176	217,878

(注) 記載金額は、単位未満を四捨五入しております。

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前 期 (2010年 4月1日から 2010年 3月31日まで)	当 期 (2011年 4月1日から 2011年 3月31日まで)
売上高	185,588	207,223
売上原価	168,182	178,318
売上総利益	17,406	28,905
販売費及び一般管理費	16,834	16,566
営業利益	572	12,338
営業外収益	445	807
営業外費用	1,677	1,466
経常利益又は経常損失 (△)	△ 660	11,680
特別利益	81	78
特別損失	2,494	1,260
税金等調整前当期純利益又は純損失 (△)	△ 3,072	10,498
法人税、住民税及び事業税	537	1,292
法人税等調整額	△ 2,783	△ 2,889
少数株主損益調整前当期純利益	-	12,095
少数株主利益又は損失 (△)	△ 56	127
当期純利益又は純損失 (△)	△ 770	11,968

(注) 記載金額は、単位未満を四捨五入しております。

Point 東日本大震災による特別損失

東日本大震災の影響による特別損失を1億6千万円計上しました。

Point 持分法適用会社の利益寄与

持分法適用会社(イギリス・ブリッジノース社、中国・乳源東陽光精箔有限公司)が経常利益に寄与し始めました(3億5千万円)。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	(2009年4月1日から 2010年3月31日まで)	(2010年4月1日から 2011年3月31日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	13,337	20,434
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,509	△ 7,070
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 190	2,700
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△ 60
V 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	646	16,005
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,465	4,111
VII 現金及び現金同等物の期末残高	4,111	20,115

(注) 記載金額は、単位未満を四捨五入しております。

■ 連結株主資本等変動計算書 (2010年4月1日から2011年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
2010年3月31日残高	16,528	35,184	7,452	△ 2	59,162	169	47	△ 247	△ 31	486	59,617
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 1,135		△ 1,135						△ 1,135
当期純利益			11,968		11,968						11,968
自己株式の取得				△ 0	△ 0						△ 0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)						23	110	△ 735	△ 601	60	△ 542
連結会計年度中の変動額合計	—	—	10,832	△ 0	10,832	23	110	△ 735	△ 601	60	10,291
2011年3月31日残高	16,528	35,184	18,284	△ 2	69,995	193	157	△ 982	△ 633	546	69,907

(注) 記載金額は、単位未満を四捨五入しております。

会社概要

会社概要 (2011年3月31日現在)

社名	古河スカイ株式会社
ホームページ	http://www.furukawa-sky.co.jp/
事業内容	アルミニウム製品およびアルミニウム合金製品の製造、加工、販売
設立	2003年10月
資本金	165億2,840万円
従業員数	3,616名(連結)、1,981名(単体)
主要な営業所および工場	本社 東京都千代田区 営業所 関西支社(大阪市北区) 中部支社(名古屋市東区) 九州支社(福岡市博多区) 工場 福井工場、深谷工場 日光工場、小山工場 研究所 技術研究所(埼玉県深谷市)

役員 (2011年6月23日現在)

代表取締役社長	吉原正照
専務取締役	鶴堀憲二
常務取締役	西辻孝三
常務取締役	楠本昭彦
常務取締役	岡田満
取締役	内藤秀彦
取締役	長南邦年
取締役	渡辺幸博
取締役	長谷川久
取締役	中野隆喜
取締役	田中清
取締役	土屋博範
常勤監査役	石原宣宏
監査役	櫻日出雄
監査役	菅野幹宏
監査役	森高弘

株式の情報

株式の状況 (2011年3月31日現在)

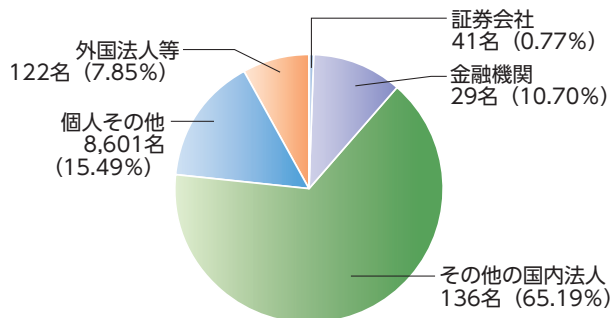
発行可能株式総数…………… 400,000,000株
 発行済株式総数…………… 227,100,000株
 (自己株式12,273株を含む)
 株主数…………… 8,929名

大株主

株主名	持株数 千株	持株比率 %
古河電気工業株式会社	120,365	53.00
新日本製鐵株式会社	18,700	8.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	8,448	3.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,838	3.01
古河スカイ従業員持株会	4,383	1.93
丸紅株式会社	2,271	1.00
三井物産株式会社	2,271	1.00
メロンバンク エヌイーアズ エージェント フォー イッツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	1,150	0.50
シービーホンコンシービーロンドン・ファンド 135 ティーアンドディーアセットマネジメントリミテッド	1,115	0.49
野村信託銀行株式会社 (投信口)	1,048	0.46

(注) 持株比率は自己株式 (12,273株) を控除して計算しております。

所有者別の構成比率 (株式数比率)



全工場でISO認証取得

全工場でISO9001認証を、さらに福井・小山・滋賀では、宇宙航空製品の品質、安全、耐空性の促進のための規格「AS9100認証」を取得し、総合的な品質管理を実現しています。

また、ISO14001認証も全工場を取得しており、継続的な環境保全活動を推進しています。



1 福井工場

概要 板製品の製造
 主要生産品目 飲料用缶材(ボディ材、エンド材)、箔用材
 ・LNG船・航空機向け大型板材
 所 在 福井県坂井市

2 深谷工場

概要 板製品の製造
 主要生産品目 ・印刷板、一般厚板
 ・自動車材、一般汎用材
 所 在 埼玉県深谷市

3 日光工場

概要 板製品の製造
 主要生産品目 ・自動車熱交換器用材
 ・メモリーディスク材
 所 在 栃木県日光市

4 小山工場

概要 押出製品の製造
 主要生産品目 ・自動車熱交換器用材
 ・感光ドラム材
 所 在 栃木県小山市

5 鋳鍛工場

概要 鋳物・鍛造製品の製造
 主要生産品目 ・輸送分野向け鋳物製品
 ・電子分野向け鍛造製品
 所 在 栃木県小山市

6 古河スカイ滋賀

概要 押出製品の製造
 主要生産品目 ・自動車熱交換器用材
 ・感光ドラム材
 所 在 滋賀県近江八幡市

7 日本製箔

a 野木工場
 概要 箔製品の製造
 主要生産品目 一般箔(工業用、食品用)
 所 在 栃木県野木町

b 滋賀工場

概要 箔製品の加工
 主要生産品目 加工箔(薬品用、食品用)
 コンデンサー箔
 所 在 滋賀県草津市

8 古河カラーアルミ

概要 板製品の塗装加工
 所 在 栃木県宇都宮市

1 PT.Furukawa Indal Aluminum [FIA]

概要 要 自動車熱交換器用押出材 生産・販売
所在 インドネシア スラバヤ近郊 グレシク市
資本金 600万USD
(古河スカイ55%、Indal40%、豊田通商5%)

2 古河(天津)精密鋁業有限公司 [FSAT]

概要 要 自動車熱交換器用押出材 生産・販売
所在 中国 天津市西青開発区
資本金 81,276千円
(古河スカイ100%)

3 Furukawa-Sky Aluminum (Vietnam) Inc. [FSV]

概要 要 ターボチャージャー用
コンプレッサーホイール生産
所在 ベトナム ホーチミン市
資本金 600万USD
(古河スカイ100%)

4 AFSEL S.A.

概要 要 自動車熱交換器用板材の販売
所在 ギリシア アテネ市
資本金 18万ユーロ
(古河スカイ50%、エルバルS.A.50%)

5 Bridgnorth Aluminium Ltd.

概要 要 印刷板・箔用材 生産・販売
所在 イギリス シュロプシャー州
資本金 29,333千ポンド
(エルバルS.A.75%、古河スカイ25%)

6 乳源東陽光精箔有限公司

概要 要 アルミニウム圧延品の製造・販売
所在 中国 広東省韶関市
資本金 74,650万円
(古河スカイ25%、三井物産20%、広東東陽光鋁業股份有限公司55%)
※韶関市陽之光鋁箔有限公司を2011年1月に吸収合併

7 FURUKAWA-SKY ALUMINUM (THAILAND) CO., LTD. [FSTH]

概要 要 アルミニウム製品の加工・販売
所在 タイ国 アユタヤ県
資本金 16千万バーツ
(古河スカイ100%)

8 Furukawa-Sky Aluminum Corp. European Office

概要 要 欧州地区アルミニウムマーケットの情報収集・発信
所在 ドイツ デュッセルドルフ

9 古河斯凱(上海)鋁材有限公司 [FSSH]

概要 要 アルミニウム圧延品の販売
所在 中国 上海市
資本金 110万USD
(古河スカイ100%)

Tri-Arrows Aluminum Inc. (仮称)

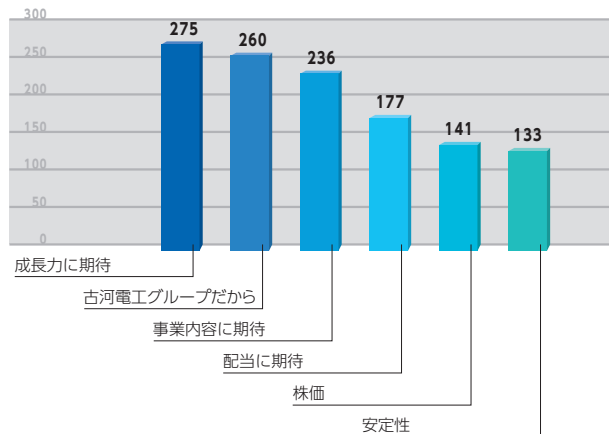
概要 要 飲料用缶材の製造・販売
所在 アメリカ ケンタッキー州
※4月に出資を発表しました。
(古河スカイ35%)

株主様アンケート集計結果のご報告

昨秋実施した株主様アンケートでは、779名の株主様から貴重なご意見・ご感想をいただきました。厚くお礼申し上げます。送付いただいたアンケート結果から、多くの株主様が当社に対して成長性や安定性を求めており、更なるIR活動の充実を期待していることがうかがえました。今回の貴重なご意見・ご要望を可能な限り経営に活かしていく所存ですので、今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Q 当社株式を購入した理由

(単位：件数、複数回答あり)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日 3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会 毎年6月下旬
単元株式数 1,000株
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
公告方法 電子公告 (<http://www.furukawa-sky.co.jp/>)
（やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。）

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 (トラストラウンジを除く) みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店	
ご注意	未払配当金の支払(※)、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	

(※)未払配当金の支払のみ、みずほ信託銀行でもお取扱いたします。

○確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

「古河スカイIRニュース」配信のお知らせ



「古河スカイIRニュース」の配信を行っています。ご希望の方は、古河スカイホームページ トップページよりご登録ください。

お知らせ

4月9日に予定していた株主様深谷工場見学会は、東日本大震災後も頻りに続いた余震や交通機関等諸事情を考慮し、延期とさせていただきます。この秋には、先般当選された株主様を対象として工場見学会実施を予定しておりますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

 **古河スカイ株式会社**

〒101-8970 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX12階
 TEL (03) 5295-3800(代表) FAX (03) 5295-3760
<http://www.furukawa-sky.co.jp/>

